

(C)大日本スクリーン製造株式会社 2001年9月

この「はじめにお読み下さい」ファイルには、SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージご使用上の留意点や制限事項が記載されています。
ご使用の前に、必ずお読み下さい。

『SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ Ver.3.00 について』

SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ Ver.3.00 は、Ver.2.20 でリリースいたしました機能に加えて、以下の機能を追加しました。

- ・プリンタファイルを圧縮／解凍する Compress 機能を追加しました。
この Compress 機能により、SCREEN MultiStudio ドライバーより出力したプリンタファイルの受け渡しの効率が大幅に改善されます。
- ・ Windows2000 に対応しました。
- ・従来の Ver.2.20 がインストールされた環境にも、同時にインストールすることができ、受け取り先の環境に合わせてプリンタファイルを出力する事が可能となりました。
- ・プリンタファイルをダブルクリックする事により、SCREEN MultiStudio Viewer が起動し、ダブルクリックしたプリンタファイルの内容を表示する機能を追加しました。

0. はじめに

SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ Ver.3.00 は、AVANAS MultiStudio Office パッケージ・Office オプションをより効果的に運用いただくための機能を数多く搭載し、合わせて従来バージョンの問題や不具合等も修正・改良しております。

本書では、この Ver3.00 の機能をお使いいただく上での、AVANAS MultiStudio の Windows 取り込み機能に関する内容も含めて、運用に当たっての注意点や 使用する際の留意点・制限項目を記載しております。

尚、本 SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ Ver.3.00 は以下の条件を満たすことにより、無償で再配布していただくことが可能となっております。

条件：

- ① SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ Ver3.00 使用許諾に同意していただく。
(本 SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ Ver.3.00 「はじめにお読み下さい」を含む。)
- ② 再配布していただく際には、必ず①の SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ使用許諾書ならびに「SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ Ver.3.00 「はじめにお読み下さい」を許諾ソフトウエア (ドライバーパッケージ) に添付していただくこと。
(故意に使用許諾を変更しない限り、SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージと許諾書の入ったフォルダーごと配布していただければ、条件を満たします。)
- ③ 再配布していただいた SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージにつきましては、サポート対象商品ではありません。
したがって、インストール方法を含め、操作、仕様に関するご質問は弊社では一切お受けできないことにご同意いただくこと。

目次

1. パッケージ構成
2. 運用上の留意点

- 2.1 Windows データ取り込み時のご注意
- 2.2 SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ運用上の留意点
3. SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ使用時の留意点・制限項目
 - 3.1 SCREEN MultiStudio ドライバーの留意点・制限項目
 - 3.2 SCREEN MultiStudio Viewer に関する留意点・制限項目
 - 3.3 SCREEN MultiStudio Viewer/Print に関する共通の留意点・制限項目
 - 3.4 SCREEN MultiStudio Compress に関する留意点・制限項目
 - 3.5 SCREEN MultiStudio Scheduler に関する留意点・制限項目

1. パッケージ構成

Viewer/Print/Compress 機能, 用紙設定ツール, および SCREEN MultiStudio ドライバーが、一つのパッケージになっています。

SCREEN MultiStudio パッケージは、以下の6つの機能から構成されています。

●SCREEN MultiStudio ドライバー

WindowsNT4.0/2000,95/98/Me の区別なく、プログラムメニューより SCREEN MultiStudio ドライバーのインストール・アンインストールが可能です。

●SCREEN MultiStudio Viewer

SCREEN MultiStudio ドライバーにて出力した結果を、画面上で校正・確認するツールです。

SCREEN MultiStudio ドライバーから出力したプリンタファイルを開く事で、出力結果を画面上で確認/プリンタ出力する事ができます。

SCREEN MultiStudio ドライバーからの起動が可能で、SCREEN MultiStudio ドライバーへの出力と同時に出力結果を確認する事が出来ます。

また、プリンタファイル, SCREEN MultiStudio Compress により圧縮されたプリンタファイルをダブルクリックする事により、SCREEN MultiStudio Viewer を起動しダブルクリックしたプリンタファイルを表示する事が可能となりました。

●SCREEN MultiStudio Print

SCREEN MultiStudio ドライバーより出力したプリンタファイルをプリンタ出力するためのツールです。

SCREEN MultiStudio ドライバーからの起動が可能で、SCREEN MultiStudio ドライバーへの出力と同時にプリンタ出力が可能です。

●SCREEN MultiStudio Compress

SCREEN MultiStudio ドライバーより出力したプリンタファイルを圧縮・解凍するツールが新たに搭載されました。

クライアントとのプリンタファイルの受け渡しを行う場合は、このツールにて圧縮したプリンタファイルにて行う事により、効率が大幅に改善されます。

SCREEN MultiStudio ドライバーからの起動が可能で、SCREEN MultiStudio ドライバーへの出力と同時に圧縮したプリンタファイルの作成が可能です。

●SCREEN MultiStudio Scheduler

SCREEN MultiStudio Viewer/Print/Compress を管理・制御する常駐ソフトです。

SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージをインストール時に、自動的に設定され、Windows 起動時もしくは、ログオン時に自動的に起動・実行されます。

●用紙設定ツール

SCREEN MultiStudio ドライバーにて使用する出力用紙を管理/追加するツールです。

カスタム用紙の追加/削除, SCREEN MultiStudio ドライバーにて使用する用紙の登録/解除, 用紙設定情報のバックアップ/リストアが出来ます。

2. 運用上の留意点

2.1 Windows データ取り込み時のご注意

- (1) AVANAS MultiStudio Ver.3.00 でリリースされた Windows データの取り込み機能は、Ver.2.20 で報告されました取り込み時の制限や、不具合が修正・改善されており、Ver.2.20 に比較して、取り込み時の

精度がより上がり、透過性が高くなっております。

しかしながら、OS 環境、フォント環境の違いやデータによっては、AVANAS MultiStudio に正しく取り込めない場合があります。

運用にあたっては、SCREEN MultiStudio Viewer を使用して、クライアント側にて SCREEN MultiStudio ドライバーより出力した結果を画面上で確認・校正していただき、必要に応じて、SCREEN MultiStudio Viewer/Print よりプリンタ出力したゲラと取り込み結果を確認いただきますようお願いいたします。

一般的に、オリジナルのドキュメントを作成された環境（フォント、プリンタドライバーの出力解像度等）と、出力する環境が異なると、同じ出力結果が得られない場合があります。

また、一部フォントにおいては、縦組みの表示や字送りがズレる場合がありますので、御注意下さい。

- (2) 古いバージョンの SCREEN MultiStudio ドライバーにて出力したプリンタファイルを取り込んだ場合、正確に出力結果を再現できない場合があります。

又、SCREEN MultiStudio ドライバー Ver.3.00 で出力したプリンタファイルは、AVANAS MultiStudio Ver.3.00 でしか取り込めません。

- (3) AVANAS MultiStudio Ver.3.00 にて、文字の編集機能が追加されました。

この事により、SCREEN MultiStudio ドライバーより出力したプリンタファイル上の文字も、設定により文字コードとして取り込む事が可能となり、文字の修正・加工等が容易に出来るようになりました。しかしながら、特殊文字等はアウトラインで取り込まれる場合がありますので御注意下さい。

2.2 SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ運用時の留意点

- (1) Windows アプリケーションについて

Windows アプリケーションの殆どは、出力するプリンタドライバーより用紙サイズ、使用可能フォント等のデータを取得し、そのデータを元にドキュメントを構築します。

その為、出力するプリンタドライバーを変更するだけで、ドキュメントの体裁が崩れる事があります。Windows アプリケーションにて、ドキュメントを作成される場合は、SCREEN MultiStudio ドライバーを予め出力するプリンタに設定される事を推奨します。

又、Windows アプリケーションよりの出力結果については、出力したプリンタファイルを SCREEN MultiStudio Viewer/Print での表示/プリンタ出力の結果にて確認して下さい。

- (2) プリンタファイルの出力元 OS と SCREEN MultiStudio Viewer/Print について

WindowsNT4.0/2000 にて出力したプリンタファイルを Windows95/98/Me 上の SCREEN MultiStudio Viewer/Print で表示/プリンタ出力する場合、WindowsNT4.0 と Windows95/98/Me の能力の違いにより、正確に表示/プリンタ出力出来ない場合があります。

Windows95/98/Me にて出力したプリンタファイルを WindowsNT4.0/2000 上の SCREEN MultiStudio Viewer/Print で表示/プリンタ出力する場合は問題ありません。

- (3) Windows アプリケーションと MultiStudio ドライバーについて

SCREEN MultiStudio ドライバーに出力すると、Windows アプリケーション側の元ドキュメントに存在する部品が欠落したり、何も出力されないといった現象が発生する場合があります。

このような現象が発生する原因は、SCREEN MultiStudio ドライバーが GDI プリンタにも係わらず、EPS 画像の取り込みなどを可能とするため、PS プリンタドライバーとしても動作可能な機能をもっており、アプリケーション側が PS プリンタと誤認してデータを出力する場合があるために発生します。

この現象が発生した場合は、この PS プリンタ動作機能をオフにして、SCREEN MultiStudio ドライバーを完全に GDI プリンタドライバーに設定する事で回避可能です。

回避方法は、SCREEN MultiStudio ドライバーのプロパティ"EPS 部品データ出力“を一時的に<無効>にして、再度出力し直して下さい。

(プロパティの設定方法については、SCREEN MultiStudio ドライバー Ver3.00 CD 内の SCREEN MultiStudio ドライバーのマニュアルを参照下さい。)

- (4) EPS 画像の出力について

上記 (3) の SCREEN MultiStudio ドライバーの特徴により、Windows アプリケーション側のドキュメントに貼り込まれている EPS 画像を EPS データとして出力し、AVANAS MultiStudio に取り込む事が可能です。

但し、EPS 部品の出力に関しては、以下の留意点・制限がありますので、ご注意ください。

①SCREEN MultiStudio ドライバーでは、Microsoft Word97/2000, Excel97/2000,

PowerPoint97/2000 上の EPS 画像のみ、EPS データとして出力可能です。

その他の Windows アプリケーションより出力された EPS 部品は、プレビュー画像での出力となります。

②上記の出力可能な Windows アプリケーションの場合でも、ドキュメントによっては、EPS 画像を正常に出力できない場合があります。

このような場合には、上記 (3) の回避方法と同じように SCREEN MultiStudio ドライバーのプロパティ "EPS 部品データ出力" を一時的に <無効> にして、再度出力し直すと、EPS 部品を取り込む事が可能です。

但し、この場合は、①のその他の Windows アプリケーションからの出力と同じように、プレビュー画像での出力となります。

(5) Viewer/Print よりのプリンタ出力時の留意点

SCREEN MultiStudio Viewer /Print から一般的なプリンタに印刷する場合、以下の留意点があります。

①PS プリンタには、画像データを合成して出力するといった部品間の論理演算を行って表現する部品を、正確に出力出来ない場合があります。

できるだけ GDI プリンタにて出力していただく事を推奨します。

(6) フォントに関する留意点

アプリケーション側で使用されているフォントに関しては、以下の留意点があります。

①SCREEN MultiStudio ドライバーでは、TrueType フォント以外のフォントをサポートしていません。

ATM/OpenType フォントを除く TrueType フォント以外のフォントは、SCREEN MultiStudio ドライバー選択時に TrueType フォントに置き換えられます。

②Adobe Type Manager を使用して、ドキュメント上に ATM フォントを使用した文字がある場合、そのドキュメントを出力すると ATM フォントを使用している文字はすべて絵柄として出力されます。

ATM を起動しない状態で出力して下さい。

③ATM が起動している状態で、Microsoft Word より出力する場合、ドキュメント上の文字全てが絵柄として出力されます。

ATM を起動しない状態で出力して下さい。

④Microsoft Wordなどで、フォントの埋め込みで作成したドキュメントを出力すると、SCREEN MultiStudio Viewer/Print での文字のコード表示/プリンタ出力、AVANAS MultiStudio での Windows 取り込み (文字コード取り込み) が異常になる場合があります。

アウトライン表示 および AVANAS MultiStudio での Windows データ取り込み (文字アウトライン) では問題はありません。

⑤Windows2000にて、OpenType フォントを使用したドキュメントを出力した場合、文字位置がずれません。

SCREEN MultiStudio ドライバーは、TrueType フォント以外のフォントをサポートしていませんので、OpenType フォントは使用しないで下さい。

2.2 Windows データ取り込みの留意点・制限項目

(1) 各 Windows アプリケーション上の CMYK の部品/画像は、AVANAS MultiStudio に取り込むと元の CMYK 値とは異なる場合があります。

これは、SCREEN MultiStudio ドライバーより出力される時に、Windows GDI を経由して行われるので、一旦 RGB となり、AVANAS MultiStudio に取り込む際に再度 CMYK に変換するためです。

(2) AVANAS MultiStudio に取り込んだ結果は、基本的に各アプリケーションからの印刷出力結果に準じます。

したがって、取り込んだ結果が、各 Windows アプリケーション上での画面表示と異なる場合があります。

例えば、Microsoft Word や Microsoft PowerPoint などの浮き出し文字は、画面上とプリンタ出力の結果が異なりますが、AVANAS MultiStudio 上ではプリンタ出力結果に準じています。

但し、プリンタ毎に出力結果が異なる場合があるため、SCREEN MultiStudio Viewer を使用して出力結果をご確認下さい。

- (3) Windows アプリケーションのネイティブデータでの引き渡しを行う場合の留意点
- Windows アプリケーションのドキュメント内で使用しているフォントは、全て SCREEN MultiStudio のプラットフォームにインストールして下さい。
単にフォントが置き換わるだけでなく、ページの体裁が変わる場合があります。
 - Windows95/98/Me アプリケーションで作成された縦組みの文章は、WindowsNT4.0 上では、ずれる事があります。
- 上記、二項目共、Windows アプリケーションで作成されたプラットフォームからプリンタファイルを出力した場合には、問題とはなりません。
- (4) SCREEN MultiStudio ドライバーで出力する時の解像度は、文字、罫線、画像などの精度/品質などに影響致します。
- 解像度が低いと十分な精度/品質が得られない場合があります。
そのような場合は、解像度を変更して再出力して下さい。
但し、むやみに解像度を上げても、無意味な場合もあります。
解像度を上げた場合、データ量が多くなり AVANAS MultiStudio での Windows データの取り込み、編集などが遅くなる場合があります。
- (5) Microsoft Excel で指定した極細線は、AVANAS MultiStudio に取り込んだ場合、必ず色が黒になります。
- この現象は、一般の GDI プリンタに出力した場合も同様です。
この制限は Microsoft 社の Homepage にも記載されています。
- (6) 各アプリケーション上で 100 ページを越えるようなデータは、1 つのプリンタファイルが 100 ページを越えないように複数に分割して出力して下さい。
- AVANAS MultiStudio では、100 ページ以上はサポートしておりません。
- (7) Microsoft Word/Excel/PowerPoint のドキュメントに貼り込まれた EPS 画像は、AVANAS MultiStudio 上で EPS ファイルとして取り込めます。
- EPS ファイルとして取り込める場合は、AVANAS MultiStudio への取り込み中に EPS ファイルを保存するフォルダを指定するダイアログボックスが表示されます。
この場合の保存ファイル名は、"DSZ 名_ページ番号_番号.eps"となります。
作成されるファイルは、常に新しいファイルとして保存します。
その他 Windows アプリケーションのドキュメントに貼り込まれた EPS 画像は、常にプレビュー画像を取り込みます。
- (8) Microsoft Word で出力したデータで、文字と背景の重なり順が入れ替わってしまう場合があります。
- この場合は、Microsoft Word 側でドキュメントのヘッダー領域に空白を挿入して再度出力し直すと回避出来る場合があります。
- この情報は、Microsoft の Homepage に記載されています。
- (9) Adobe PotoShop などで作成した白色部分を透明指定した 1bitEPS を貼り込んだドキュメントを出力し、AVANAS MultiStudio に取り込むと、取り込まれた 1bitEPS の透明指定した白色部分が AVANAS MultiStudio 側での EPS 表示の制限により透明になりません。
- 出力に関しても透明部分が正常に出力されるかどうかは、出力先 RIP の仕様に依存します。
- (10) Justsystem 一太郎より出力したプリンタファイル、OLE が貼り込まれたドキュメントを出力したプリンタファイルを AVANAS MultiStudio に取り込んだ場合、イラストの下地が透ける場合があります。
- この現象は、AVANAS MultiStudio に取り込む際にイラストを ImageMask に変換している為です。
AVANAS MultiStudio に取り込む際、[補助]-[Windows データ設定]の[詳細設定]内” IBit 画像の ImageMask 化” を OFF する事により、正常に取り込まれます。

3. SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ使用時の留意点・制限項目

3.1 SCREEN MultiStudio ドライバーの留意点・制限項目

- (1) SCREEN MultiStudio Ver. 3.00 で提供している Windows データ取り込み用のドライバー"SCREEN MultiStudio"は、Windows95/98/Me, NT4.0/2000 上でのみ動作します。
- (2) [スタート]メニューの [設定] - [プリンタ] を選択して表示されるウインドウ内の SCREEN Multi

Studioのプロパティ内で設定された内容が、特定のアプリケーションでは出力情報のデフォルトとなります。

- (3) SCREEN MultiStudio ドライバーをプリンタ共有する事は出来ません。
使用するプラットホーム毎に設定して下さい。
- (4) 特定のアプリケーションからプリンタファイル出力中に、プリンタファイル名を確認するメッセージが複数表示される場合があります。
これはアプリケーションからデータを分割して出力しているため、先に出力したファイル名とは異なるファイル名を入力して下さい。
AVANAS MultiStudio に取り込む場合は、分割されたプリンタファイル全てを取り込んで下さい。
Microsoft Excel などでは、各シートのページ設定内の印刷品質の解像度を合わせると、複数回にわたる出力確認のメッセージが表示されなくなる場合があります。
- (5) Microsoft PowerPoint から出力する場合、用紙サイズは SCREEN MultiStudio ドライバーの設定値で出力されますが、用紙方向は Microsoft PowerPoint 側の設定値で出力されます。
出力時に、Microsoft PowerPoint 側の印刷ダイアログボックスのプロパティで用紙サイズを確認して下さい。
- (6) Adobe PageMaker でプリンタファイルを出力する場合は、SCREEN MultiStudio ドライバーのプロパティ内のデバイス設定タグを選択し、デバイス設定のオフセット補正を<有効>にして下さい。
その後、SCREEN MultiStudio ドライバーを通常使うプリンタに設定して、プリンタファイルを出力願います。
尚、Adobe PageMaker 以外のアプリケーションを御使用になる場合は、上記、デバイス設定のオフセット補正は必ず<無効>に戻して下さい。
- (7) Microsoft Word からプリンタファイルを出力する時点で、Microsoft Word が異常終了する事があります。
この現象が発生した場合は、印刷のオプションで“バックグラウンドで印刷する”をオフにして再出力すれば、正常に出力される場合もあります。
この現象は、通常のプリンタに出力する場合も同様に発生する現象です。
- (8) Microsoft Visio2000 から2回目以降の出力で解像度を変更すると文字間、文字サイズが異常となります。
- (9) Microsoft Word2000 からの出力時の留意点・制限項目
 - ①印刷時に、出力用紙としてカスタム用紙を選択した場合、サイズに近いシステム用紙サイズで出力されてしまう場合があります。
Microsoft Word2000 側で用紙サイズを強制的に変更してしまいます。
この現象を回避するには、SCREEN MultiStudio の用紙設定ツールで、出力対象のカスタム用紙のみ登録状態にして出力する方法のみが回避方法です。
 - ②拡大・縮小にて出力する場合、正常に出力されません。
この件は Microsoft の Homepage に記載されている Microsoft Word2000 の不具合です。
- (10) Windows95/98/Me 上で Justsystem 一太郎のグラデーションを出力すると、プリンタファイルが非常に大きくなり、取り込みに時間がかかる場合があります。
このような場合は、一太郎側の印刷設定で [印刷] [補助設定] [グラデーション] の設定を、[イメージ] にて出力するモードに変更すると、プリンタファイルを小さくする事が可能です。

3.2 SCREEN MultiStudio Viewer に関する留意点・制限項目

- (1) 高解像度のプリンタファイルを全体表示しても、ページ全体が表示されない場合があります。
Windows GDI の制限により、SCREEN MultiStudio Viewer にて、表示領域を制限しています。
又、同様の問題で、一定倍率以上のズームも SCREEN MultiStudio Viewer にて制限しています。
- (2) Microsoft Word/Excel/PowerPoint で設定された半調部品は、SCREEN MultiStudio Viewer 上の表示では、半調ではなく短冊状になりますが、AVANAS MultiStudio に取り込んだ場合は、半調部品として取り込まれます。
- (3) Microsoft Word/Excel/PowerPoint で貼りこまれた EPS 画像は、SCREEN MultiStudio Viewer 上の表示では、プレビュー表示になりますが、AVANAS MultiStudio に取り込んだ場合は、EPS 部品として取り

込まれます。

- (4) Windows2000にて、一部パターンが出力元アプリケーション上の表示と異なる場合があります。AVANAS MultiStudioに取り込んだ場合は、出力元アプリケーション上の表示結果と同様の結果となります。

3.3 SCREEN MultiStudio Viewer/Printに関する共通の留意点・制限項目

- (1) SCREEN MultiStudio Viewer/Printよりのプリンタ出力は、出力先のプリンタドライバーの能力に依存します。
このため、Windowsアプリケーション上のデータを正確に出力できない場合があります。
- (2) Microsoft Word/Excel/PowerPointで設定された半調部品は、SCREEN MultiStudio Viewer/Printよりのプリンタ出力では、半調ではなく短冊状に出力されますが、AVANAS MultiStudioに取り込んだ場合は、半調部品として取り込まれます。
- (3) Microsoft Word/Excel/PowerPointで貼りこまれたEPS画像は、SCREEN MultiStudio Viewer/PrintよりPSプリンタに出力した場合は、EPSデータ内の実画像が出力されます。
GDIプリンタへ出力した場合は、プレビュー画像が出力されます。
- (4) SCREEN MultiStudio Compressにて圧縮されたプリンタファイルは、SCREEN MultiStudio Viewer/Printにて自動的に解凍を行います。
解凍処理には設定されたテンポラリフォルダを使用しますが、空きディスク容量によっては、正常に処理ができない場合があります。
このような場合には、テンポラリフォルダを空きディスク容量に余裕のあるドライブに変更して下さい。

3.4 SCREEN MultiStudio Compressに関する留意点・制限項目

- (1) SCREEN MultiStudio Compressにより圧縮されたプリンタファイルには、専用の拡張子".dsv"が付加されます。
- (2) Ver. 3.00以前のプリンタファイルに対しての圧縮・解凍処理は行うことは出来ません。
- (3) SCREEN MultiStudio Compressにて圧縮したプリンタファイルは、元プリンタファイルと比べて、平均30%程度の大きさになります。
但し、プリンタファイル内に画像が多く存在する場合は、十分に圧縮効果が出ない場合があります。
- (4) SCREEN MultiStudio Compressでの圧縮・解凍処理は、設定されたテンポラリフォルダを使用します。
大きなプリンタファイルの圧縮・解凍を行う場合は、空きディスク容量によっては、正常に処理ができない場合があります。
このような場合には、テンポラリフォルダを空きディスク容量に余裕のあるドライブに変更して下さい。

3.5 SCREEN MultiStudio Schedulerに関する留意点・制限項目

- (1) SCREEN MultiStudio Schedulerの自動起動設定は、以下のツールにて設定出来ます。
但し、SCREEN MultiStudio Schedulerの自動起動を無効にした場合、SCREEN MultiStudio Viewer/Print/Compressの自動制御は行えなくなります。

設定ツール名：DSWCustomTool.exe

ツール格納先：C:\Program Files\SCREEN MultiStudio 3.00

[操作方法]

- ①WindowsNT/2000の場合、"Administrator"でログインする。
- ②"DSWCustomTool.exe"をダブルクリックする。
- ③ダイアログボックス上で、処理対象バージョンを指定し、有効/無効を設定する。
- ④OK ボタンを押す。
- ⑤ログオフもしくは、コンピュータの再起動を行う。